



小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

2016年12月15日(木)

共同目標達成の基点

共同目標を達成しようとする場合、達成までの全プロセスのはじめの段階にチームの力を結集して事にあたる基点があります。

共同目標達成のステップと基点

その基点は次の目標達成ステップの2に位置付けられます。

No.	ステップ
1	解決したい問題の定義、共有
2	問題発生の原因調査、共有
3	目標設定（目標達成状況を測る指標、または達成状況表現項目を設定し、現状と達成した時の状況を指標・数値、または具体的状況で表現する）
4	達成手段の検討（共創）
5	達成までのプロセス計画
6	計画実行、実行上の問題解決
7	目標達成
8	評価、反省

すなわち、「チームメンバー全員が、問題発生原因を理解し合った瞬間」に、目標達成イメージが的確、具体的に生まれ、達成への確信とやる気が生じるのです。

基点づくりの要点

基点づくりの要点は「原因調査のやり方」にあり、次の三つの原則を活用します。

- ① “三現主義”（現地で、現物を見て、現実に即して状況を掴む）
- ② 何故なぜ5回の原因分析（問題発生原因と思われる事象を掴んだら、さらにそれは何故起こったのか、と追究し、それを5回繰り返すことによって真因を突き止める）
- ③ 段階的詳細調査（「何を知りたいか」を明確にし、第1次調査を実施する。その結果を知った上で、「さらに何を知りたいか」を検討して、2次調査を実施する、と言うように順次深掘りする）

チームとして実施する場合は1次調査の分担調査、結果発表、共同検討をファシリテーションで行うと“共創”（異質な知が融合して新しい知を創出する）が生まれます。

経営者・管理者の留意点

このような原因調査は、一見面倒に思われますが、真因を突き止めた時に得られるメンバーのやる気、その後の目標達成スピードの速さで、全体として十分にとり返し、さらに目標達成度の向上に貢献します。



**目標達成は基点
を重視！**